

# ポートスキャンログ分析からみたインターネットセキュリティの一考察

## 常時接続におけるネットワーク セキュリティの脅威

ソフトウェアコンサルタント  
鈴木裕信

Hironobu@h2np.net

# 主旨

- H2NP.NETサイトにおける外部からのポートスキャンのログを解析することにより、アタックのトレンドを考察する
- セキュリティログをPretty Printするツール clscanの紹介
- Clscanをベースに拡張した広域におけるポートスキャン解析システムの提案

# バックグラウンド

- **ダイヤルアップから常時接続へ**
  - CATVやxDSLの普及
- 24hours in a day / 7 days in a week
- **本格的なインターネット環境へ**
  - ~ 1993: 先端的研究部門への普及
  - ~ 1995: 大企業への普及
  - ~ 2000: ビジネスの現場への普及
  - 2000 ~ : 小規模サイト・小中学校・家庭へ普及へ

# 問題点

- 常時接続環境においては大企業のサイトも一般家庭のサイトも規模は違えど本質的には何も変わらない
  - まったく同じ問題を抱えている
    - ソフトウェアの脆弱性
    - ネットワークサービスのセットアップミス
    - 不十分な管理
    - 無防備なシステム

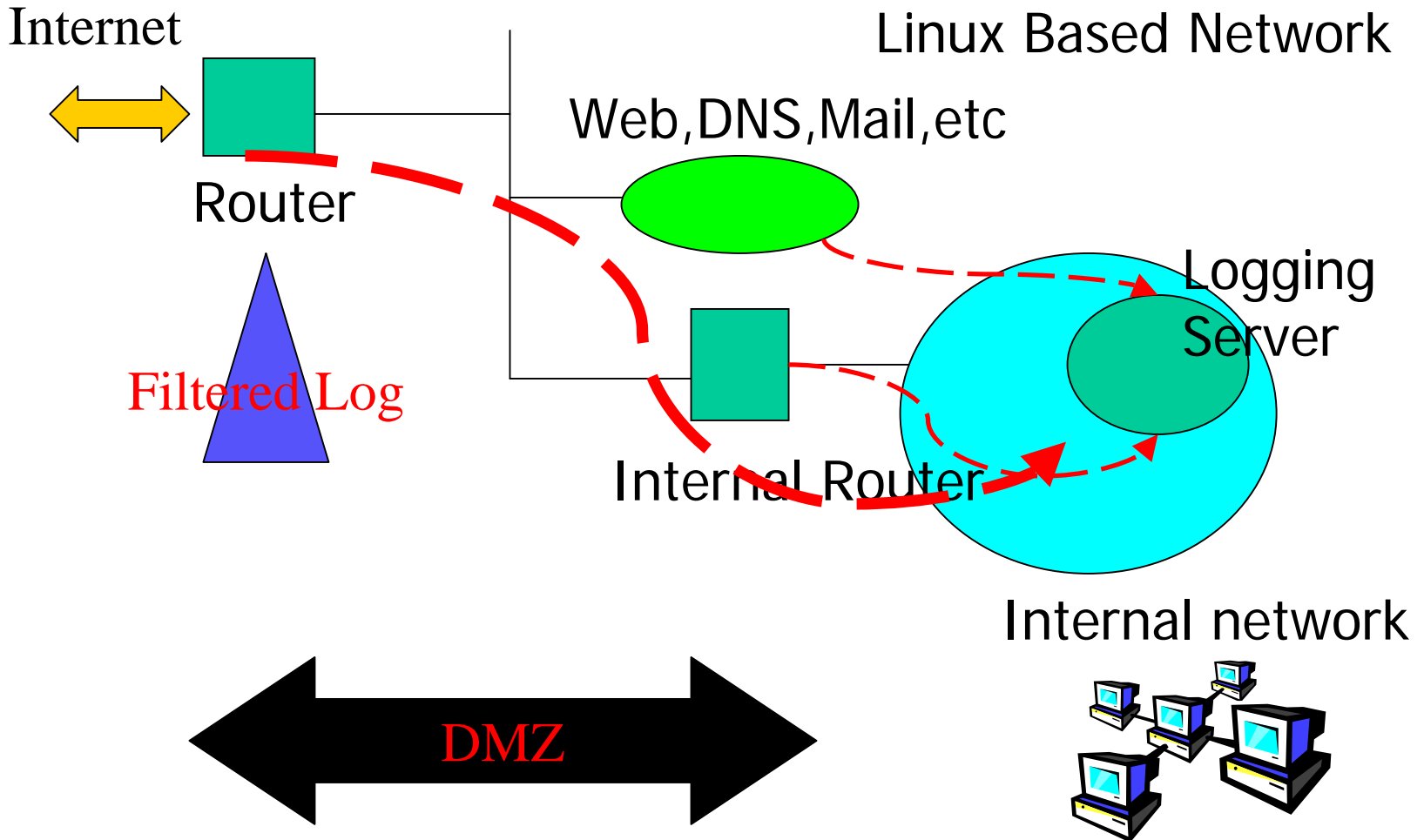
# その結果...

- 無防備なシステムは自動的にスキャンされ、攻撃を受けることになる
  - rpc.statd (111)
    - NFSに使うデーモン
  - LPRng(515)
    - 新しい lpd
  - 911 Worm(137,138,139)
    - Windowsを狙って増殖
  - smurf, land (ICMP)
    - ICMP Echoなどの設定ミス

# ファイアウォール

- 本論文での定義
  - 内部ネットワークを保護するプロテクションシステムの総体
- ファイアウォールとして最初にする事
  - インターネットと直接接続するルータでのIPパケットフィルタリング
    - マシン側でアクセス制御する方法もある
      - TCPWAPPER
      - BlackIce

# 利用環境



# IPフィルタログの分析

- 期間
  - 2000年7月1日～2001年1月31
- 記録数
  - 6714
    - syslogに記録されたルータのIPフィルタ設定で破棄された記録)
- ポートスキャンとして扱う対象
  - 26種類
- ポートスキャン数
  - 4898

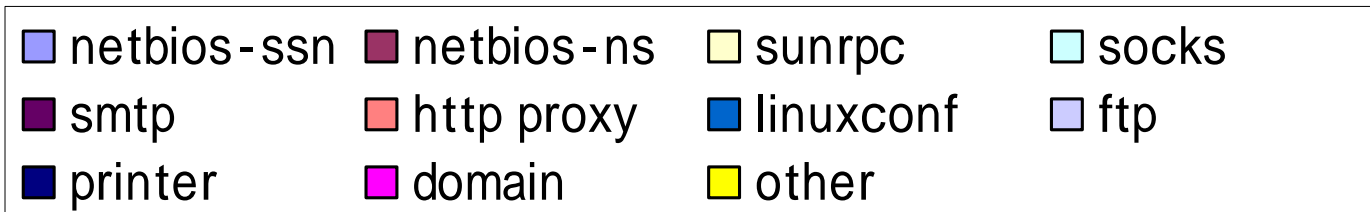
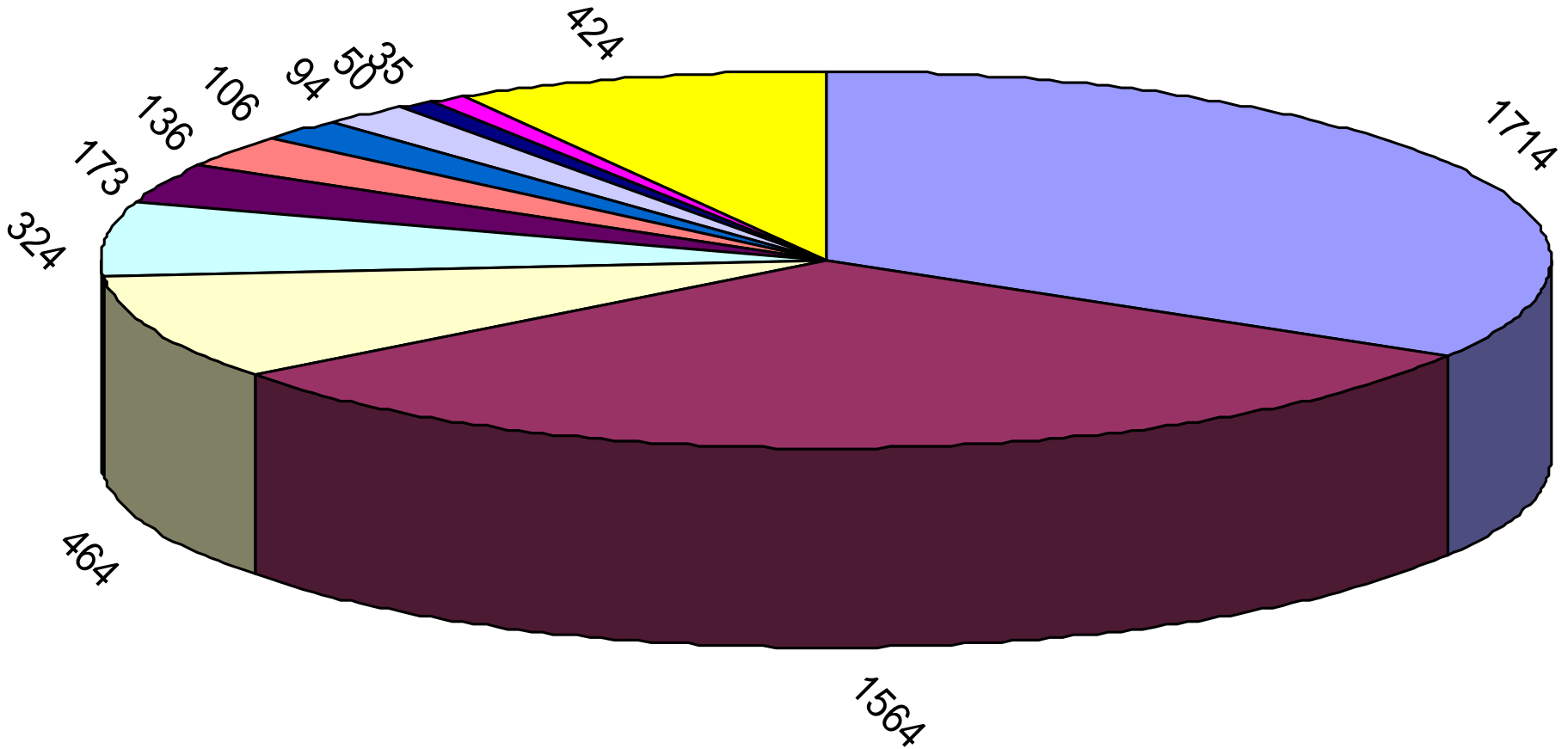


注) domainやsmtpなどは  
存在していないアドレスへ  
のアクセス

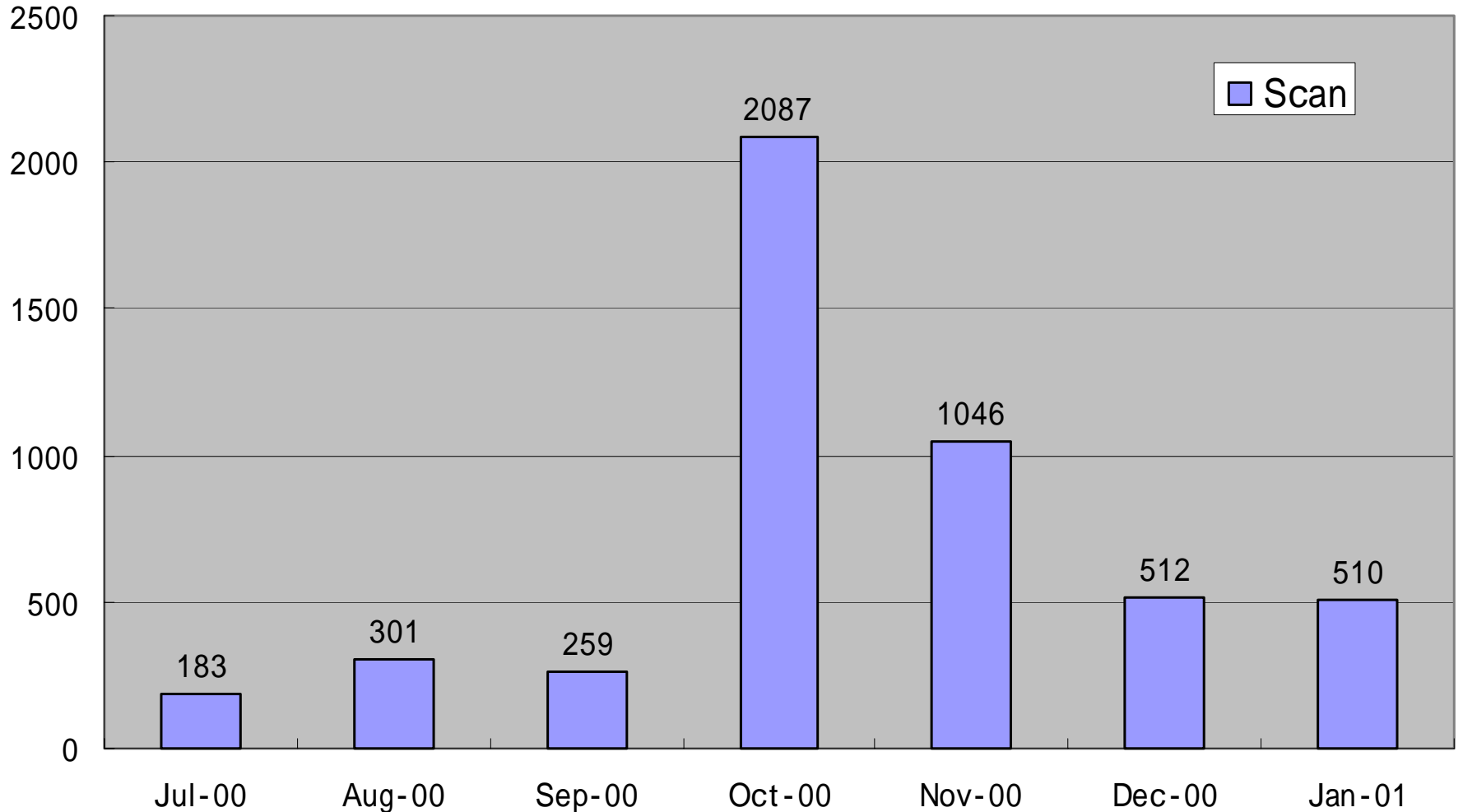
# 対象ポート

```
ftp(21/tcp), telnet(23/tcp), smtp(25/tcp),  
domain(53/tcp), httpd(80/tcp), linuxconf(98/tcp),  
pop2(109/tcp), pop3(110/tcp), sunrpc(111/tcp),  
netbios_ns(137/tcp), netbios_ns(137/udp),  
netbios_dgm(138/tcp), netbios_dgm(138/udp),  
netbios(139/tcp), netbios_ssn(139/udp),  
imap(143/tcp),  
printer(515/tcp), linux_mountd(635/tcp),  
socks(1080/tcp),  
Sub7(1243/tcp), MS_SQL_S(1433/tcp),  
ingreslock(1524/tcp),  
squid(3128/tcp), pcanwheredata(5631/tcp),  
wwwproxy(8080/tcp), NetBus(12345/tcp),  
BackDoor_G(27374/tcp),  
Hackatack(31789/udp), rpcbind(32773/tcp)
```

# 統計分析データ



# 月別変化

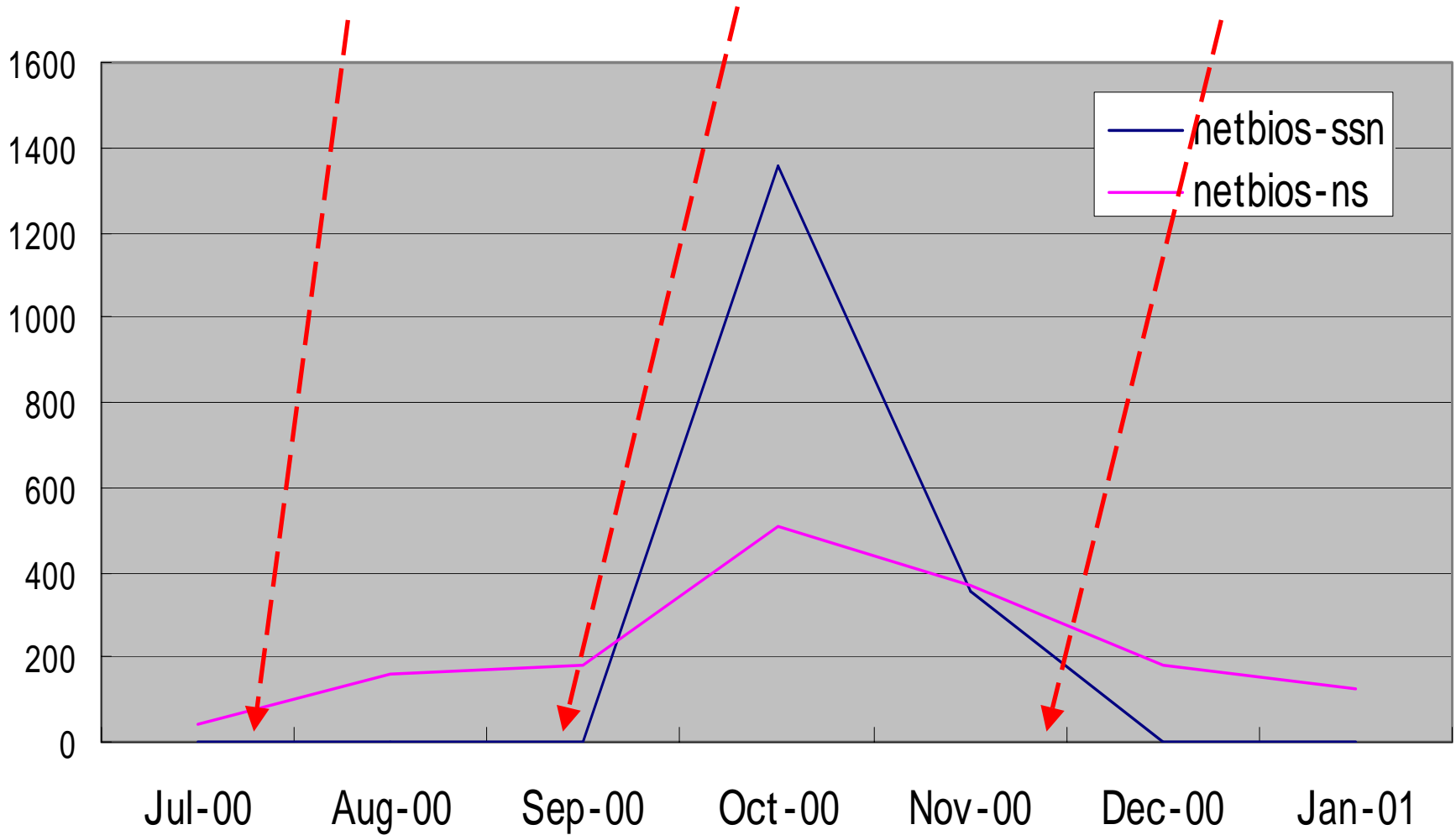


# NetBIOS編 月別変化

MS00-047 (Jul27)

MS00-066 (Sep11)

MS00-091 (Nov30)



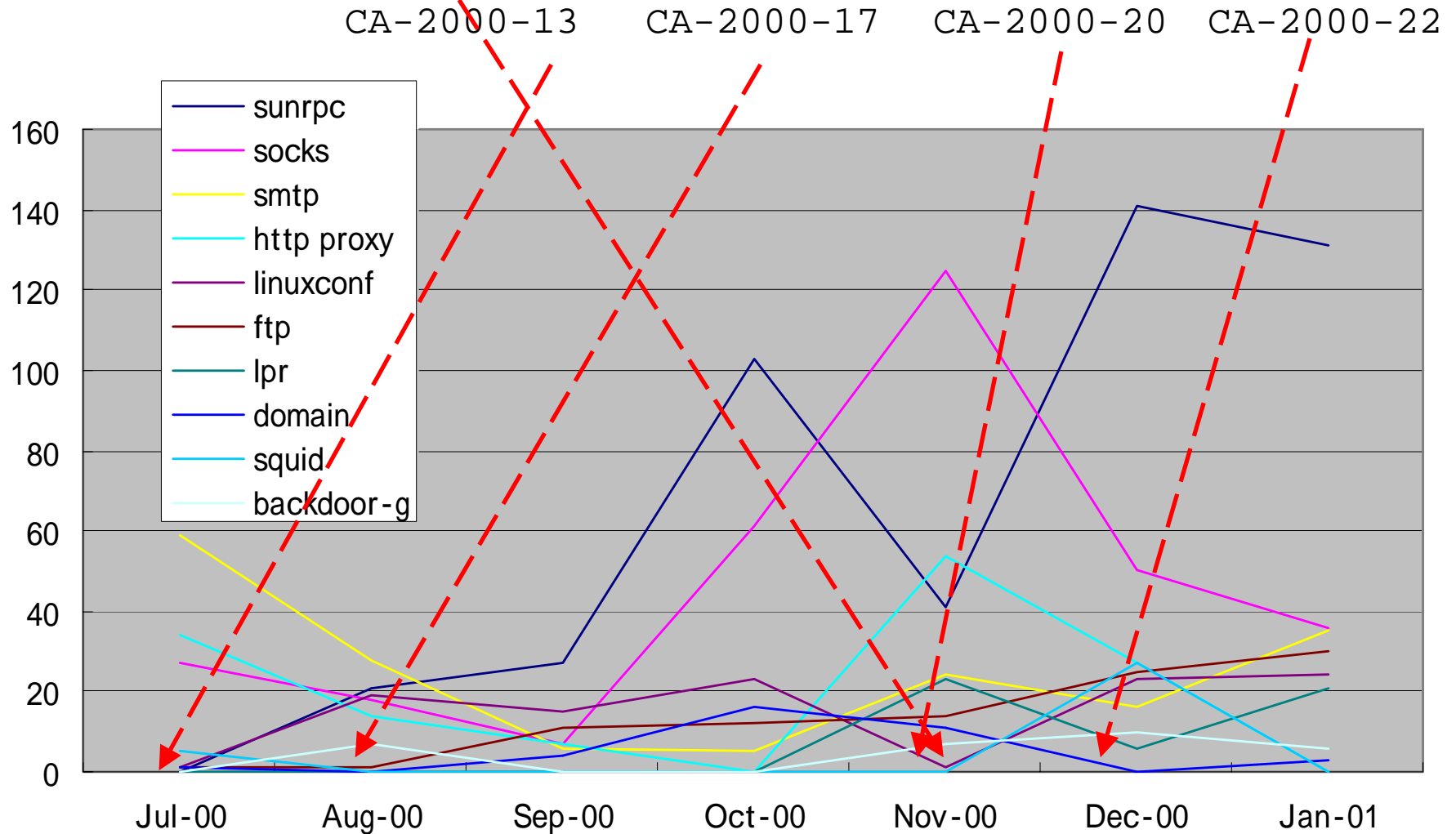
# NetBios編 用語説明

- Netbios-ssn
    - **ポート番号**139
      - Windowsの**ポートサービス**
  - Netbiso-ns
    - **ポート番号**137
      - Windowsの**ネームサーバ**
  - MS00-047
    - NetBIOS Name Server Protocol Spoofing Vulnerability (NT4.0 W2K)
  - MS00-066
    - Malformed RPC Packet Vulnerability(W2K)
  - MS00-091
    - Incomplete TCP/IP Packet Vulnerability(NT4.0 95 98 Me 98s)
- [www.microsoft.com](http://www.microsoft.com)

BugTraq Nov15  
Socks remote  
exploit code posted

ベスト10 (netbiosを除く)

# 月別変化



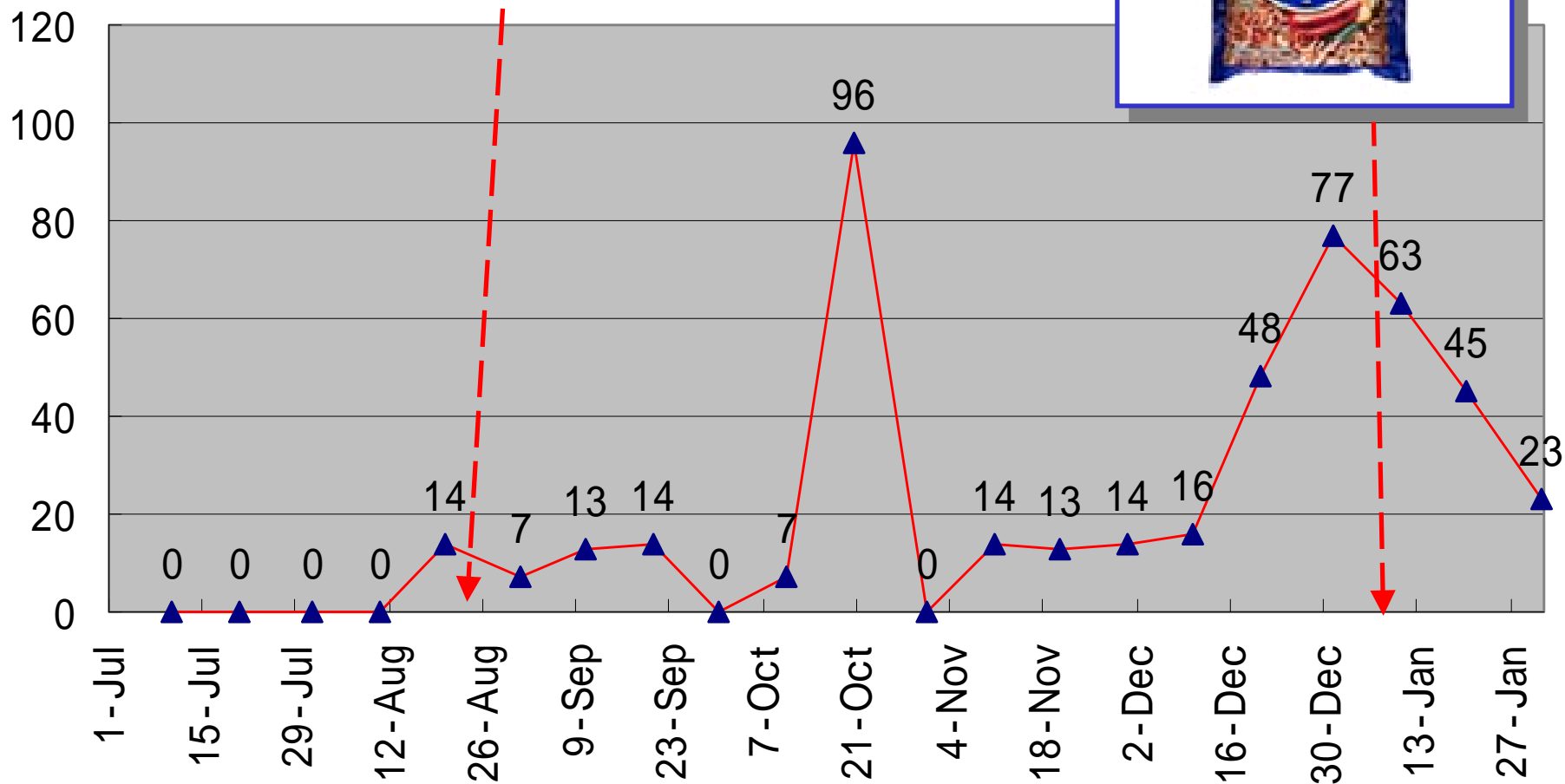
# ベスト10 用語説明

- CA-2000-13
  - Two input Validation problems in FTPD
- CA-2000-17
  - Input Validation Problem in rpc.statd
- CA-2000-20
  - Multiple Denial-of-Service Vulnerability in ISC BIND
- CA-2000-22
  - Input Validation Problem in LPRng

[www.cert.org](http://www.cert.org)

# 月別変化

CA-2000-17





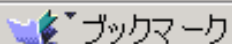
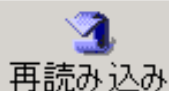
# Sunrpc 用語説明

- CA-2000-17: Aug 18
  - Input Validation Problem in rpc.statd
- IN-2001-01: Jan 18
  - Ramen Worm toolkit

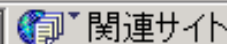
[www.cert.org](http://www.cert.org)

# CLSCAN

- Common Log SCAN
  - 既にsyslogに記録される数々のセキュリティ情報は存在しているが人間が簡単に読める形ではない
  - セキュリティログのプリティプリント
    - HTML, Text
  - 簡単な統計情報
  - 各種SOHO向けルータ、TCPWAPPER、IP filterなどのログに対応
  - <http://h2np.net/clscan>



場所: ~/Temp/mn128-2001 Feb11-042000.html



goo



Yahoo!



MIDI

Netscape ネット



IMPRESS



H2NP

# Results Of Internet Connected Router Log Analysis

[clscan official page](#)

[\[Prev\]](#) [\[Next\]](#)

## ALERT LIST

Day Time	Service	Host	From
Feb 6 02:23:40	telnet	mn128	210.97.104.5
Feb 9 02:41:53	domain	mn128	lan5.mintel.net
Feb 11 00:46:12	domain	mn128	phelpsr.physics.csus.edu
Feb 11 00:46:15	domain	mn128	phelpsr.physics.csus.edu

[\[Prev\]](#) [\[Next\]](#)

## WARNING LIST

Day Time	Service	Host	From
Feb 4 14:40:35	netbios_ns	mn128	210.223.199.15
Feb 5 00:40:09	netbios_ns	mn128	pae0196.ykhmpc00.ap.so-net.ne.jp
Feb 5 00:41:12	netbios_ns	mn128	hunt-120-113.intelos.net



ドキュメント: 完了。



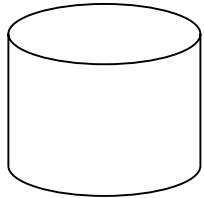


# CLSCANをより広域へ

- 現在のCLSCANは個々のサイトのログを統計処理しているだけ
  - なんとなくトレンドはわかる
    - しかし統計的には偏りが大きいはずである
  - もっと広域の情報を集めれば、さらにトレンドがはっきりする？
    - ポートスキャンとアタックの関係をもっとフィールドワークする必要がある

# WCLSCAN

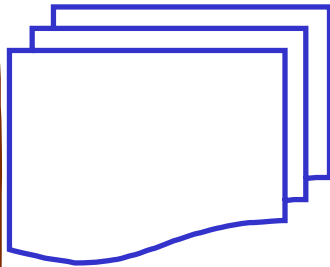
Database



Pre-processing by clscan library

Secure Message

Statistics Processing



01/6/14

# 誰か一緒にやりませんか？

WCLSCANは広域の情報を集めるツールであって、それは手段である。その集めた情報から何が見えてくるのか、これが筆者の興味であり、目的である。まだ誰も広域データの分析をしたことがない。誰も知らないことを知りたいと思いませんか？

# まとめ

- SOHOレベルでもたくさんのポートスキャンがある
- システムへの侵入を前提としたポートスキャンであると強く示唆するものもある
- ブロードバンド時代では一般家庭レベルでも問題になるだろう
- さらに今後も観察を続ける必要がある
- 1サイトのログだけではなく、広域のデータを集めることができれば、さらに新しい発見が可能かも知れない